



首都直下地震への備え

取手市長 藤井信吾



昨年12月1日から8日までNHKでは「体感・首都直下地震ウィーク」と冠した特別番組を放送しました。1日のプロローグでは首都直下地震は30年以内70%の確率で発生し、内閣府中央防災会議が被害想定をマグニチュード7.3、最大震度7、全壊家屋17万5千棟、焼失家屋41万2千棟、死者2万3千人、負傷者12万3千人、経済的被害95兆円とされていることを基に最新の研究を踏まえた解説が行われ、あなたは生き延びられるのか、との問題提起がありました。このシリーズの特色は、ドラマ仕立てで「パラレル東京」と名付けた地震発生後の東京が時間の経過とともにどうなっていくのか、架空の放送局でニュースを伝えるキャスターやスタッフの

目を通して再現し、視聴者にもわが事として体感できるような仕立てになっていたことです。私は番組本編を最終回まで見ました。最もショッキングな光景は高さ200メートルを超える火災旋風があらこちらで発生して街を焼き尽くす映像でした。関東大震災の時にも、本所の被服廠跡に集まっている避難者を火災旋風が襲い3万5千人が犠牲となったと言われています。初期消火に失敗すると、都区内の消防力を総動員しても追いつかない厳しい状況が予想されているようです。また、「群衆雪崩」という言葉を初めて学習しました。19年前に明石市で花火大会の帰り客で混乱する歩道橋上で群衆の転倒が大きな被害となりましたが、極度に人口集

中した東京では一方へ誘導する情報をきっかけに群衆雪崩のリスクが非常に高いといえます。その他、いったん停電して電気が復旧する時の通電火災の怖さや、広域通信障害によるパニックなども説得力がありました。さて、私は、3年前に一読した岩波書店「首都直下地震」(平田直著)を再読してみました。最初の3分間はまず自分の命を守れとあります。小学生には「ダンゴムシのポーズ」で落下物に備えよとの指導がされています。しかし、就寝中の不意打ちには勝てません。私は自分の寝ている部屋の洋服ダンスに突っ張り棒を設置しました。枕元には懐中電灯を置いておきます。皆さま、大地震をわが事として捉え、備えていただくようお願いいたします。

参加者募集

チューブ体操指導者養成講習会

問 健康づくり推進課 ☎内線1221

チューブ体操は、年を重ねることで生じる体力の低下を予防するために、筋力アップを目的とした運動です。チューブ体操の指導者としてボランティアで活躍してみませんか。

〈日時〉2月5日(水)・6日(木)・7日(金)午前10時～11時30分、午後1時～2時30分(全6回)※7日(金)は午後4時まで

〈会場〉福祉交流センター(市役所敷地内)

〈内容〉チューブ体操実技指導方法や指導者としての基礎知識の学科講習

〈対象〉市内在住の50歳以上で、全日程に参加でき、修了後に指導者としてボランティア活動ができる方

〈定員〉25人※多数は抽選

〈受講料〉無料※交通費、昼食代は各自

〈申込〉件名に「チューブ体操指導者養成講習会申し込み」と明記し、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を記入の上、〒302-8585 寺田5139健康づくり推進課宛てはがきを郵送か電子メール(wellness@city.toride.ibaraki.jp)

〈締切〉1月27日(月)必着※受講の可否は1月29日ごろ発送予定

◎受講者の個人情報、講習実施のために利用するほか、市内で体操普及活動をしている「チューブ体操指導者の会」に提供します



受講者募集

プロが教える効果的なPRメッセージのコツ

—愛読書の帯を例に— 問 取手図書館 ☎74-8361

〈日時〉2月16日(日)午後1時30分～3時30分

〈会場〉福祉会館(市民会館隣)

〈内容〉本の帯作りを体験して、PRメッセージの視点やコツを学ぶ

〈講師〉名和佳夫氏、野島優美氏(株式会社オズマピーアール)

〈対象〉中学生以上の方

〈定員〉先着20人

〈参加費〉無料

〈持ち物〉愛読書(おすすめの1冊)、筆記用具(色鉛筆、マジックペン、マーカーなど)

※ない方には図書館でもご用意します

〈申込〉1月22日(水)午前9時30分から電話または取手図書館カウンターで直接



受講者募集

認知症サポーター養成講座

問 地域包括支援センターさらの杜 ☎70-2801

認知症を学び、地域で支えるサポーターになりませんか?

〈日時〉2月14日(金)午後1時30分～3時

〈会場〉新取手自治会館(新取手1-17-5)

〈内容〉認知症の理解を深める講演や寸劇

〈定員〉先着80人

〈申込〉電話

◆認知症サポーターとは

何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を地域や職場で温かく見守る応援者です。

受講者募集

「人生100年 見た目年齢を若くする極意!!」

年を重ねても素敵でいたい～身だしなみで心も若く元気で～

問 高齢福祉課 ☎内線1308

〈日時〉2月15日(土)午後1時30分～3時30分

〈会場〉福祉交流センター(市役所敷地内)

〈講師〉伊藤文子氏(NPO法人プラチナ美容塾理事長)

〈定員〉先着80人

〈参加費〉無料

〈申込〉電話

受講者募集

地域住民による地域住民のための支えあいを広げるシンポジウム

問 地域包括支援センターはあとびあ ☎71-3210

組織や個人が災害に備える日頃からの助け合いの地域づくりとは何か、その支え合いを広げていく事を目的としてシンポジウムを開催します。昨今特に多い自然災害の助け合いをテーマにして、自治会および自主防災会などの地域自主組織の役割とは何か、地域の一人一人がやるべきことは何か、地域で実際に活動している方々の事例を基に、皆さんと考えます。

〈日時〉2月5日(水)午後1時30分～4時

〈会場〉取手ウェルネスプラザ

〈登壇者〉加藤努氏(小文間南地区町内会会長)、岩井陽一氏(青柳自主防災会会長)、鈴木正夫氏(八重洲長寿会会長)、猪瀬邦子氏(取手地区民生委員・児童委員協議会会長)、島田博見氏(地域支え合いづくり推進協議会)

コーディネーター：関谷昇氏(千葉大学大学院社会科学研究院教授)

〈参加費〉無料

〈参加〉直接会場へ